

介護に関するアンケート 結果報告

男女共同参画部会理事
山口大学大学院 保健学専攻
徳田信子



対象者・回答者

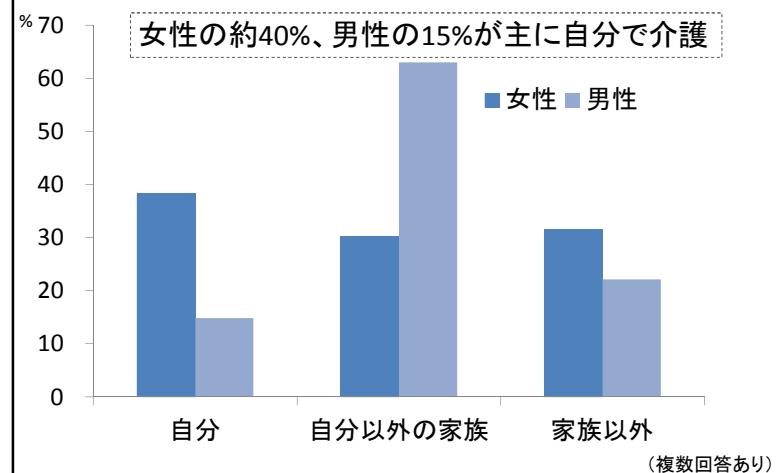
- アンケート期間: 平成26年11月～12月
- 対象: 山口県医師会員
 - 対象者 2,642名
 - 回答者 1,264名 (回答率: 47.8%)

	男性			女性			性 別 未記入	計		
	対象数	回答数	回答率	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
29歳以下	45	8	17.8%	29	4	13.8%	0	74	12	16.2%
30～49歳	562	188	33.5%	131	73	55.7%	0	693	261	37.7%
50～69歳	1,178	582	49.4%	140	90	64.3%	2	1,318	674	51.1%
70歳以上	519	289	55.7%	38	22	57.9%	0	557	311	55.8%
年齢未記入	-	5	-	-	0	-	1	-	6	-
計	2,304	1,072	46.5%	338	189	55.9%	3	2,642	1,264	47.8%

1. 現在、もしくは過去において 介護を経験した医師に対する設問

- 回答者の28%
 - 女性 57名 16%
 - 男性 298名 84%

(1) 介護は主に誰がされていますか。



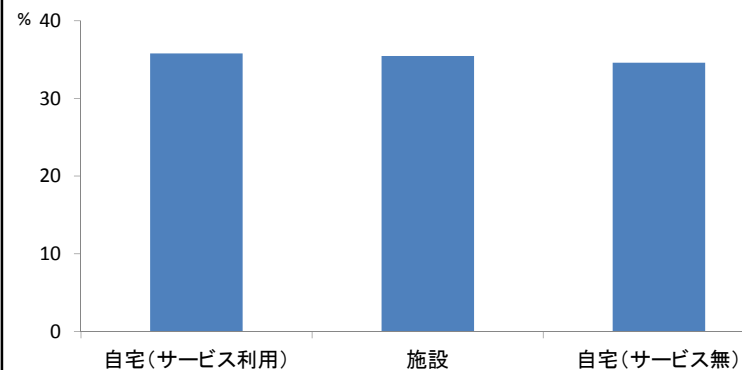
(2) どのように介護をされていますか。

1. ホームヘルパーやデイサービスなどを利用しながら主に自宅で介護している。36%
2. 特別養護老人ホームなどの施設に入所させている。36%
3. 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で介護している。35%



(複数回答可)

60%以上が自宅で介護



(3) 介護のための休暇について

- 介護の際、**休暇**を取得したことはありますか。
- 無い: 93%
- 休暇取得中の**身分保障**はありますか。
- 無い: 81%



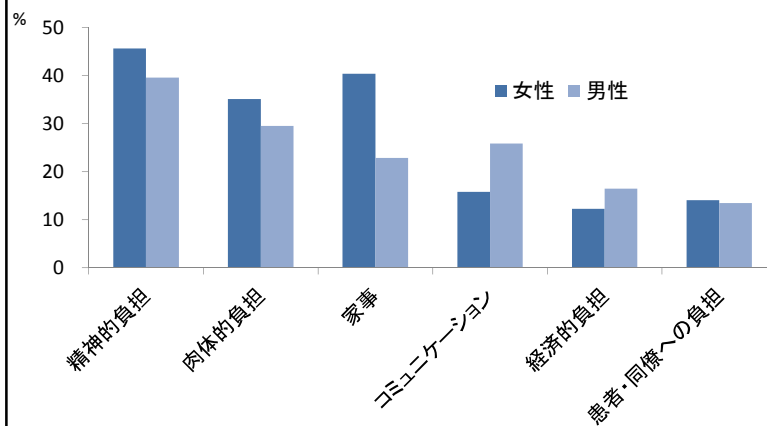
(4) 介護に関して困っていること、悩んでいることはどんなことですか。

- 少しの時間も気を抜かず、ストレスや**精神的負担**が大きいこと。41%
- 十分な睡眠がとれない、介助に力が必要など、**肉体的に負担**が大きいこと。30%
- 介護以外に、食事の支度や掃除・洗濯などの**家事**をこなすことができないこと。26%
- **コミュニケーション**をとるのが難しいこと。25%
- 介護に要する**経済的負担**が大きいこと。16%
- 仕事を休まなくてはならないため、**患者・職場や同僚に迷惑**をかけること。14%



(複数回答可)

介護による精神的・肉体的負担が大きく、
女性では40%が家事との両立に悩む



2. 介護経験のない医師への設問

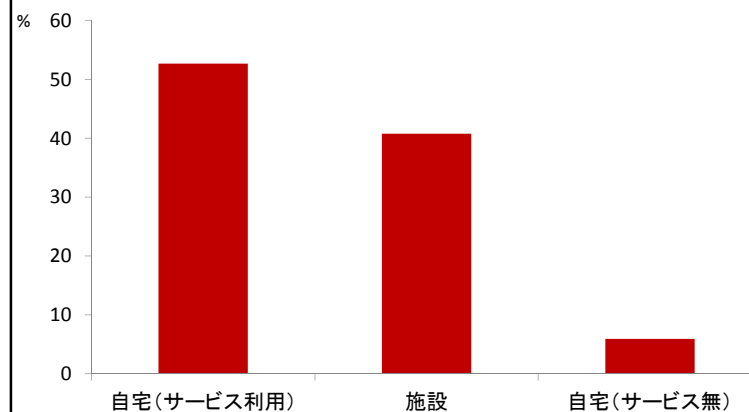
- 回答者の72%
 - 女性132名 15%
 - 男性777名 86%

(1) もし家族が介護を要する状態になった場合、どのようにしたいとお考えですか。

- ホームヘルパーやデイサービスなどを利用しながら主に自宅で介護したい。53%
- 特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい。41%
- 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で介護したい。6%



50%以上が自宅での介護を想定

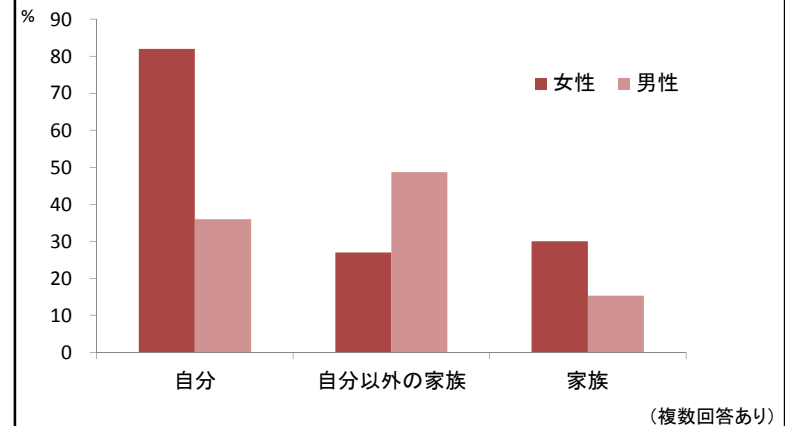


(2)自宅で介護する場合、主に誰が介護することになると思いますか。

- 自分 39%
- 自分以外の家族 43%
- 家族以外 16%



女性の80%、男性の30%以上が「主に自分が介護する」と想定

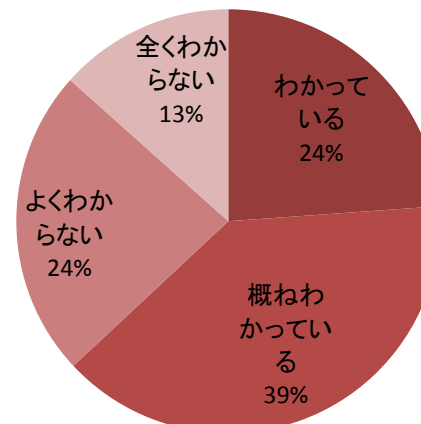


(3)介護保険の申請方法についてお尋ねします。

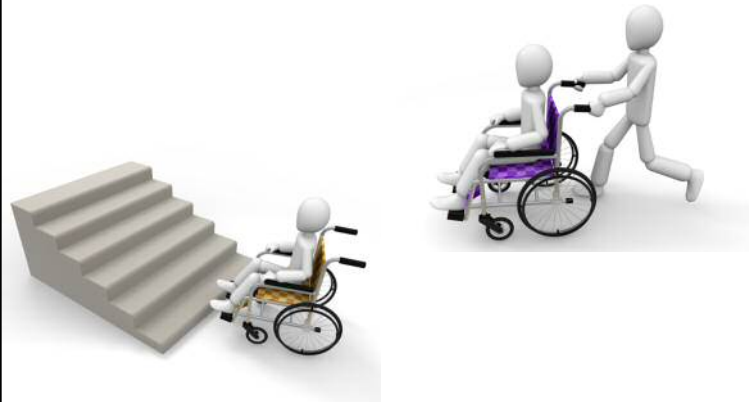
- わかっている 26%
- 概ねわかっている 35%
- よくわからない 22%
- 全くわからない 11%



「主に自分が介護する」と想定している回答者の37%が介護保険の申請方法についてよくわかっていない



3.全員への設問



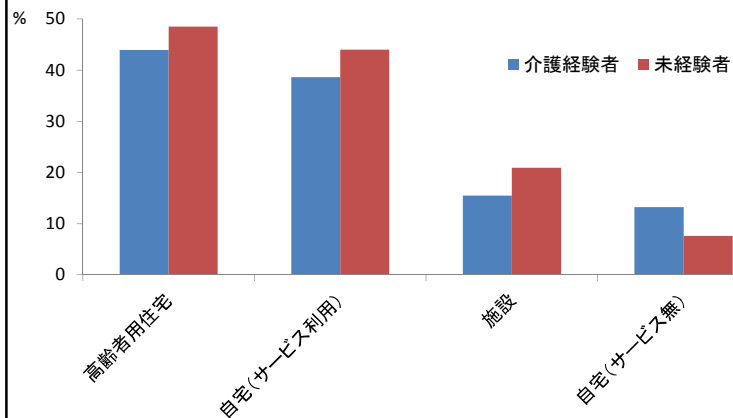
(1) もしあなた自身が介護を要する状態になった場合、どの様にしてほしいと思いますか。

- ・ 介護付き高齢者住宅などの**施設**に入居したい。
- 44%, 49%
- ・ ホームヘルパーやデイサービスなどを利用しながら**主に自宅で**介護してもらいたい。
- 37%, 44%
- ・ 特別養護老人ホームなどの**施設**に入所したい。
- 16%, 21%
- ・ 行政や外部のサービスには頼らず、**自宅で家族などから**介護してもらいたい。
- 13%, 8%



%は介護経験有、無の順で記載。
(複数回答可)

大多数が高齢者住宅・自宅での介護を希望



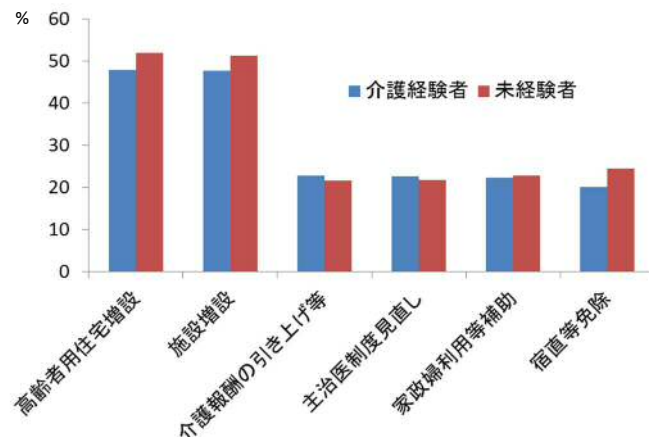
(2) 仕事と介護の両立を図る支援対策として有効と思われるものを選択してください。

- ・ 介護付き高齢者住宅などの**施設増設**
- 48%, 52%
- ・ 老人保健施設・特別養護老人ホームなど介護**施設の増設・増床**
- 48%, 51%
- ・ 介護報酬の引き上げ、社会保障費の増額
- 23%, 22%
- ・ 複数主治医制度の導入など主治医制の見直し
- 23%, 22%
- ・ 家政婦などの利用者への費用助成
- 22%, 23%
- ・ 宿直・日直の免除
- 20%, 24%



%は介護経験有、無の順で記載。
双方が20%を越えた選択肢を示す。

50%が高齢者住宅や施設の増設を希望



4. まとめ

- **介護経験者**
 - 60%以上が**自宅**で介護。
 - 介護休暇の取得が困難。
 - **精神的・肉体的な負担**が大きい。女性では**家事**負担も大。
- **介護未経験者**
 - 半数以上が**自宅**での介護を想定。
 - 女性の80%、男性の30%以上が**主に自分が介護**すると想定。
 - 30%以上に介護保険の**申請方法**が周知されていない。
- **全体**
 - 50%以上が自身について**自宅**での介護を希望。
 - 介護を支える**施設**や介護に対する**サポートの増加**が求められている。



5. アンケート結果を踏まえた 永田教授への質問

- 介護する者の困難な状況を解決するには？
 - サービスの全容
 - 住まいの種類と具体的な利用方法
 - 利用可能者、日数など
- 自宅で介護をするには？
 - 自宅で受けられるサービス
 - 自宅で介護を続ける心構え
- 介護に備えるには？
 - 信頼できる情報源や場
- 知られていないサービス(サポート)は？

謝辞

- アンケートにご協力いただいた先生方、データ解析に対してご協力頂いた市原清志教授(山口大学大学院保健学専攻)に心よりお礼申し上げます。